勉強のおもしろさや勉強する理由がわかってくる！

やる気の法則。

第6回：古文

取材・文／太田知子
イラスト／桔川 伸

わかるようでわからない古文の世界。「やる気を出すには興味をもつことから」と岡本先生はおっしゃいます。どうしたら興味をもてるのか、3つのアプローチを教えていただきました。文学好きでなくても、とっかかりをつかむヒントがみつかるはず！

法則1 千年以上も昔の自国の言葉を知るチャンス！継承のバトンを受け取って

伝えなければ途絶えてしまう貴重なものと気づいてほしい

言葉は生き物です。いつの間にか生まれ、変化し、やがて消えていくもの。方言もあれば、ほとんど知られていない未知の言語もあるかもしれず、地球上の言語の数は六千前後もあるといわれています。人が一生のうちに出会える言葉は全体から見ればほんのわずかで、しかもそれは儚いもの。そう考えると、千年以上昔の自分の国の言葉を読むという経験は、奇跡のように感じませんか？

古文独特の表現「あはれなり」を味わう

日本古典文学の傑作といわれる「源氏物語」は世界中のたくさんの言語に翻訳され、日本語の現代語訳も多く、マンガも有名です。でも書かれた内容を存分に味わいたいならやはり原文を読むのが一番。例えば「あはれなり」は、いろいろな場面で使われますが、原義は「思わず『ああ』と声が漏れてしまう感情」で、それがこの「あはれなり」の一言に込められています。他の言語でこのニュアンスにぴったり合う言葉を探すのは、至難の技。このように古文には日本人特有の感性や思想が表れていて、それを読む私たちは当時の文化を垣間見ることができるのです。

古文を学ぶことは、連綿と受け継がれてきた文化を継承すること。これからも続くであろう、リレーのバトンを持っているという気持ちで、古文の世界に触れてみては？

法則2 英語や歴史など ほかの教科と つなげて理解する

英語と同じ文法を発見し言葉の不思議を知る

「もし～だったなら、～だったろうに」という表現を古文では「反実仮想」といいます。4つの表現方法があり、その中の1つに「～せば～まし」というものがあります。伊勢物語にも登場する有名な和歌「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」は、まさにこの反実仮想の表現です。ところで同じ意味を現代英語で表現すると、「If S＋過去形,S＋助動詞の過去形＋原形」となります。たとえば「If I were a bird, I could fly to you.」というように使われます。

英語で現在の事実に反する仮定を表すのに「were」と過去形が使われていますが、反実仮想の「もし～だったなら」の部分の「～せば」の「せ」も、実は過去の助動詞「き」の未然形です。ただの偶然ですが、日本語の古文と現代英語との間にある時空を超えたこの共通点に気づいて「おもしろいな」と思えると、どちらも忘れませんよね。

物語に描かれた時代背景を調べるのも手

古文を学ぶことは、実は外国語を学ぶ姿勢に通じます。単語も丸暗記するより、原義から理解するほうが断然おもしろいのでは？

英語のほかにも「この物語の歴史背景は？」などと、日本史や世界史と関連付けて知識をつなげていくと、古典の教科だけにとどまらず、世界が広がり楽しいですよ。

法則3 ジグソーパズルに挑戦する気分で推理力を育てよう

10のうち8つがわかれば読み解ける

古文はなんとなく読んでいるだけでは苦痛でしかありません。でも一文一文すべての意味を正確に理解しながら読むのは、かなり難しいことだと思います。

意味を取り違えないためには、10あるポイントのうち、8をわかっていればOK。あとの2つは推測すれば、だいたい見当がつきます。「こういう意味じゃないかな」といくつか仮説を立て、前後のつながりなどから「おそらくそうだ」と推測する力をつければいいのです。これは数学や物理などにも通じる力。正解を導き出せたとき、ジグソーパズルを完成させたような快感を味わえますよ。

今回の「やる気の法則。」を教えてくれたのはこの先生！

岡本梨奈先生

「受験サプリ」で古文・漢文の講座を担当。自身が苦手だった古文を克服した経験に基づく、苦手な人の立場に立った解説が人気。楽しみながら教え、その楽しさを伝えることをモットーにしている。趣味は動物と戯れること。

岡本先生の講義も公開中！

受験サプリ
https://jyukensapuri.jp/

月額980円で人気講師の受験対策講義を見放題。スマホやPCでいつでもどこでも自分のペースで勉強できるネット予備校。全国140大学以上の過去問無料ダウンロードや合計1万語以上の暗記カードも提供。